

4. バージョン 8.0 の新機能

旧バージョンからお使いのユーザーの方に、バージョン 8.0 の新機能や更新内容だけを抜粋して説明します。

4.1 気象条件を更新

■猛暑日数を直近 5 年に更新

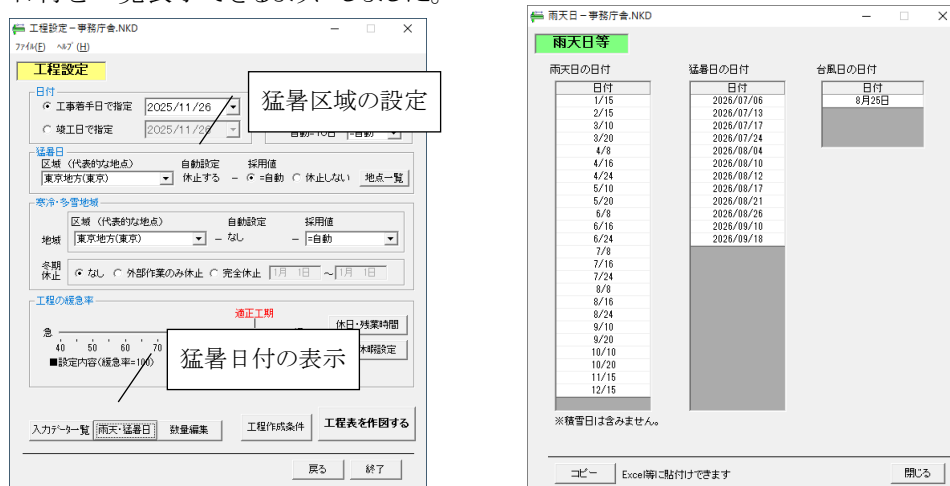
本プログラムに収録されている全国 142 地点の猛暑による作業不能日数を、直近 5 年の値に更新しました。直近 5 年は、環境省「熱中症予防サイト」(https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php)で暑さ指数(WBGT)の確定値が公開されている 2020～2024 年です。

主要な都市の年間作業不能日数の変化は次の通りです。

都市名	年間作業不能日数	
	Ver7.0	Ver8.0
札幌	0	0
仙台	2	2
東京	10	12
名古屋	6	7
大阪	2	3
広島	0	0
福岡	6	10

●作業不能日の日付を表示

本プログラムは、ネットワーク工程表を作図するために特定の日を作業不能日としています。その日付を一覧表示できるようにしました。



■雨天日を直近 5 年に更新

県別の雨天日を直近 5 年(2020～2024 年)の値に更新しました。

雨天日は1日の降雨・降雪量が 10mm/日以上の日数(土日祝日を含む)の 1/2 を雨天休止日としています。1/2 は土日祝日と夜間の降雨を考慮した値です。

■寒冷地区分の見直しと更新

これまで全国の市区町村ごとに寒冷地区分を設定していましたが、これを都道府県ごとに気象特性が近い気象庁の一次細分区域の全国 142 地点にしました。

また気温、積雪量から得られる寒冷地区分を直近 5 年(2020～2024 年)の値に更新しました。

■台風日を直近 5 年に更新

県別の台風日を直近 5 年(2020～2024 年)の値に更新しました。

またこれまで、年間の台風日数を算出しそれを 7～9 月に均等に割り付けていましたが、月毎の台風日数を算出する方法に改良しました。

4.2 適用範囲の拡大

■床面積の上限を拡大

最近の建物の大型化に伴い本プログラムの床面積の上限を超える建物が増えてきたため、用途により上限を拡大しました。

用途別の上限は「用途別適用範囲」(P15)を、旧バージョンからの変化は「9. 面積調査資料」(P139)をご覧ください。

■型枠投入数の制限を緩和

これまで型枠投入数は、自動設定値の 1/2 以上かつ 2 倍以下の制限がありましたが、昨今の労務不足で 1/2 以下の人数で工期をシミュレーションしたいとのユーザーからのご要望がありました。

そこで型枠投入数の制限を、下限 4 人、上限 80 人に緩和しました。

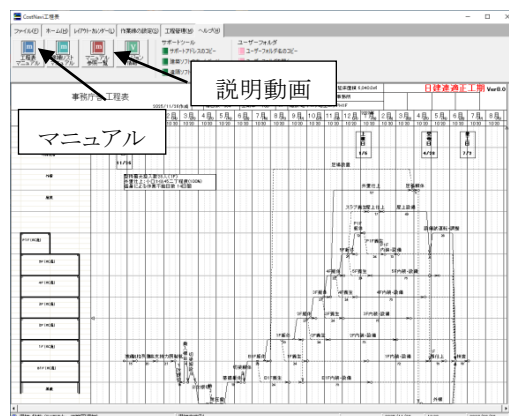
■基礎工区数の上限を拡大

これまで基礎躯体の工区数は、自動設定値の 2 倍以下の制限がありました。基礎躯体は上部躯体に比べ工区数が増える場合があるので自動設定値の 3 倍までに拡大しました。

4.3 工程表アプリの改良

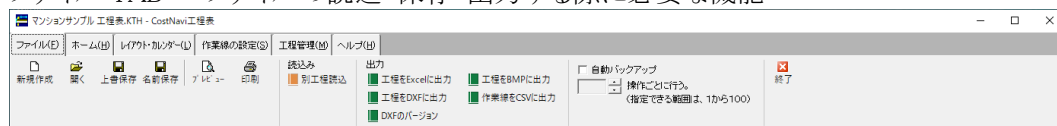
ネットワーク工程表を表示する工程表アプリは、メニューをリボン形式するなど操作性を改良しました。詳しくは工程表アプリのヘルプで表示される「**CostNavi 工程表 Ver16.0 ユーザーズマニュアル**」の「Version16.0 の新機能」をご覧ください。

工程表アプリの操作方法是同マニュアルおよび説明動画をご覧ください。



● リボンメニュー

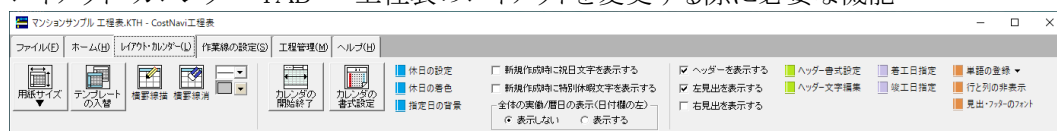
ファイル TAB・・・ファイルの読込・保存・出力する際に必要な機能



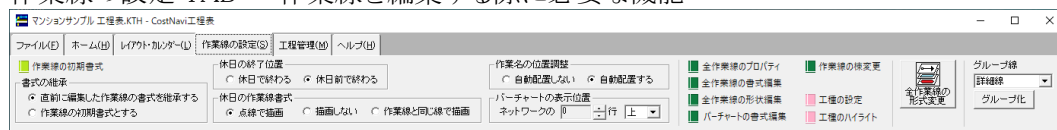
ホーム TAB・・・工程表を描画する際に必要な機能



レイアウト・カレンダーTAB・・・工程表のレイアウトを変更する際に必要な機能



作業線の設定 TAB・・・作業線を編集する際に必要な機能



工程管理 TAB・・・工程を管理する際に必要な機能



ヘルプ TAB・・・工程表のヘルプやサポートに関する機能

